

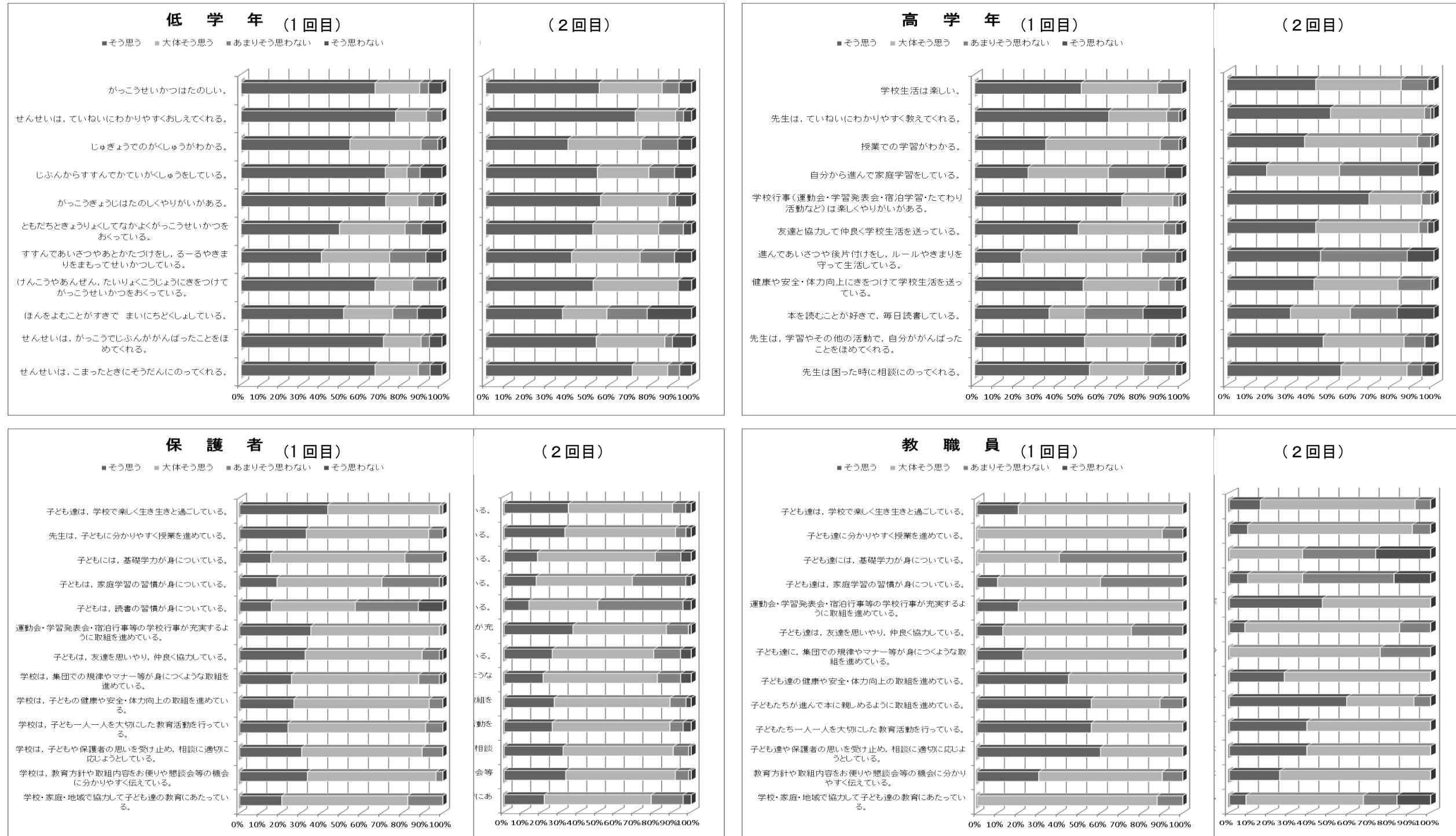
平成30年度第2回学校評価について

平成31年3月

京都市立石田小学校 校長 藤内みゆき

本年度後期の本校教育活動を振り返り、次年度の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「平成30年度第2回学校評価アンケート」の集計が終了いたしましたので、考察を加えてお知らせいたします。

後期の回答の様子を前期と比較してグラフでご覧ください。



表面では回答の概要をご覧いただきました。

裏面では集計した回答をもとに、考査を加えた項目や保護者や地域の皆様からいただいたご意見をお伝えします。

学ぶ力について

【学校は楽しい】

【先生はていねいにわかりやすく教えてくれる】

【授業での学習がわかる】

この3項目について、1回目より2回目の方がマイナス評価が増えています。楽しくなくなった原因はどこにあるのか、授業がわかりにくくなっている要因は何なのか、そう答えている児童に担任がしっかり聞き取って、今後の指導に生かし改善していきたいと考えています。

【自分から進んで家庭学習をしている】

低学年の児童はできるようになった児童が増えていますが、高学年の児童は半数近くの児童ができないと答えています。年度当初から学校全体で出す課題を決めて取り組んできたにも関わらずできていない児童が増えているのはどうしてなのか、原因をしっかり見極めて、次年度の取組に生かしていきたいと思います。

【本を読むことが好きで毎日読書している】

教職員の回答は子ども達の姿から、本を毎日読んでいて本好きの児童が多いと感じているのに対して、保護者の回答は半数近くの方がそうではないと回答されています。低学年児童も40%を超える児童がマイナス評価をしています。この教職員の感じている姿とそうでない姿とどこにギャップがあるのか、しっかり考えていきたいと思います。

生きる力について

【学校の行事は楽しくてやりがいがある】

1回目に続き2回目もプラス評価が多かったのがこの項目でした。学校生活の中で、様々な行事にめあてをもって取り組み、充実していましたことがわかります。

【友達と協力して仲良く学校生活を送っている】

【進んであいさつや後片付けをし、

ルールやきまりを守って生活している】

この2項目については、どちらもわずかながらプラス評価が増えています。特に低学年児童のそう思わないという回答が減少しています。学校生活の中で、自分の意にそわないことが起きた時にどう対処すればよいのか、解決する方法を見つけられた様子が伺えました。

【健康や安全・体力向上に気をつけて学校生活を送っている】

この項目については、高学年児童のマイナス評価が増えています。集団登校に間に合わない児童が最近増えたり、寝不足から体調不良を訴える児童もちらほら見られるなど、「早寝早起き朝ごはん」がなかなかできていない児童が増えてきているようです。新年度に向けて今一度自分の生活を見直してほしいです。

その他

保護者の方の回答はすべての項目においてマイナス評価が2回目の方が増加しました。学校に通う子ども達の様子からそう感じておられるので、今回の評価を学校は真摯に受け止めて、今年度の取組を見直さなければなりません。反省すべき点は反省し、改善できる点はしっかりと改善して、次年度の取組に生かしていくかなければならないと考えています。

～自由記述より～

保護者の声

★運動会、学習発表会、行事の進行をもっと段取りよく進めてほしい。ゆっくり過ぎる。

>>行事の多くは、高学年児童が自分たちで運営できる場面を多く取り入れて進めるようにしています。児童の人数が少ないこともあります。手が足りない場面が運動会では見られました。また、学習発表会では出演する児童にハグや握手がありそれを待っていると結果から段取り良く見えなかったこともあるかと思います。次年度はどこを改善すればよいか考えて行事等の取組を進めていきたいです。

★泣いている子がいた時、男女共にその子に寄り添う所を目にしました。良い所だと感じましたが、高学年になると特定の子が特定の子を泣かせるようなきつい言葉を言ったりするところも知ると、どの程度かは分かりませんが、ひどいこと（多くみられる）でないとよいと感じました。

>>思いやりの心を行動に表してくれている児童がたくさんいる反面、クラス替えのない中での人間関係に難しさを感じている児童も少なくありません。子ども達に寄り添いながら指導をしていきたいと考えています。

★3年生は学級内が安定していないので、子どももまた学校か・・・という感じになってきている。そんな中で、PTAなどの動員などで子どものこと以外の仕事に時間をさかなくてはならないのが不満である。

★しっかりと授業を受けられる状態にしてください。

★子どもが学校に行くたび、クラスの子にケガをさせられます。先生に話しても何も解決せず、先生を頼れないと言っています。親としても学校の事が信頼できません。学校に預けている事がとても不安です。子どもはどんどん友達の中でも信頼できる子とできない子が出来てきているようです。

>>3年生のクラスの状態が落ち着かなく、子ども達が不安を抱えていることに大変申し訳なく思っています。緊急の保護者会を開かせていただき、保護者の方にも現状を知っていただき、改善策を見出していくべく取組を進めていますが、現状は厳しい状態です。本当に申し訳ございません。学校としてできることをしっかり取り組んでいきたいと考えております。

★子どもの人数が少ないからと言って、運動会のプログラムを減らすのはどうかと思う。1~6年みんなでする競技をすればよいのでは。

>>学校行事の精選という点からも運動会を午前中で終わりにするという学校も多くなってきました。本校は特に児童数が少なく、例年通りの取組ではなりゆかないことも多くなっています。子ども達の活躍できる場を減らすことなく工夫した内容にすべく、次年度はしっかり考えていきたいと思います。

★給食の牛乳はぜったい必要なんですか？米飯が多くなっているからお茶でいいと思う。カルシウム、カルシウムって言いますが、牛乳より別のカルシウムもあるし。

>>学校給食については、管理栄養士がきちんと子ども達の成長に必要な成分を計算して献立を立てています。献立作成委員会に本校の教員も参加していますので、今回いただいたご意見は伝えさせていただきますが、予算等の関係もあり大きく改善することは難しいかと思います。

★学校は、子どもや保護者の思いを受け止め、相談に適切に応じようとしてくれていますが、我が子の現状を知らない家庭については個別に指導をしてほしい。教育も大事ですが、モラルにかけている事が残念です。集団登校も問題があると思います。

>>子ども達の学校での気になる様子については、担任からその都度、保護者の方に連絡はしています。地域や家庭での様子については、地域や各ご家庭で連携していただき、子ども達を見守っていただけたらと思います。集団登校については様々な問題点が出てきていますが、一番は子ども達の安全優先です。それをしっかり守るために改善できる点についてはPTAの地域委員さんとも話し合い、次年度に生かしていきたいと考えています。

★相手のことを考えて行動するように…と指導されていると思うのですが、パワーバランスが偏っている以上、きっとそれは無理なのではないかと思っています。ギブアンドテイクではなくギブアンドギブの関係に見てとれます。考える力、こうすればこうなるかもしれないという考えをもって行動する子ども達になつてこそ相手を思いやれる関係になれるのかと考えます。

>>少人数でクラス替えのない環境で6年間を過ごす子ども達は本当にたくさんの悩みを抱えて成長しています。クラス替えがあれば4月に人間関係が一度リセットされることがあるのですが、そういうこともなく、1年生からの人間関係をずっと持ち越して過ごしています。悩んでいる児童に担任は寄り添って指導しているのですが、子ども達のパワーバランスは大人が立ち入ってもなかなか変わらないところもあり、教員同士、この点については、職員室でいつも話題にあがり、どうやって改善していくべきだろうとみんなで意見を出し合っています。少しでもよくなればと取組を進めています。ご家庭とも協力して子ども達を守っていきたいと考えています。



お忙しい中、学校評価アンケートに貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今回いただいたご意見を真摯に受け止め、次年度に向けて教職員一同精一杯努力してまいります。